

日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 32 No. 4 (通巻 87 号)

2021 年 4 月 13 日

～第 39 回春季研究大会（オンライン開催）案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 増田佳昭
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階
一般社団法人日本協同組合連携機構内 日本協同組合学会事務局
TEL: 03-6280-7254 FAX: 03-3268-8761
E-mail: kyodo-gakkai@japan.coop
ホームページ: <http://www.coopstudies.com/>

日本協同組合学会

第 39 回春季研究大会・会員総会・懇親会のご案内

新型コロナウイルス感染防止の観点から開催を延期していた第 39 回春季研究大会を、下記の日程でオンライン開催することになりました。万障お繰り合わせの上、ご参加ください。

開催日時：2021 年 5 月 29 日（土） 13 時～

開催方法：Zoom によるオンライン開催

接続方法：日本協同組合学会 Web ページや学会メーリングリストにて公示

（下記にて参加申し込みをした上で、接続方法を確認し、当日 Zoom で接続してください。）

ご参加の場合は、学会 HP の「春季研究大会」ページ内にある

申込みフォームより事前登録をお願いします。

学会 HP 申込みフォーム➡



第 39 回春季研究大会シンポジウムテーマ：協同組合と大学

<ねらい>

日本において大学は、協同組合運動の発展にとって欠かせない存在であった。明治期以来、大学のキャンパスでは協同組合が研究され、教育され、また実践されてきた。高等教育機関であり、学生・教職員の生活共同体でもある大学が、協同組合の運動と事業に果たしてきた関与・役割を振り返り、その成果と課題をまとめて、今後における協同組合人の養成と社会における協同組合への理解の促進を考えることが、本大会のねらいである。

激動の時代にある大学に、協同組合は何をもとめるのか、会員諸氏の活発な討論を期待したい。

<座長解題>

日本の協同組合は、その草創期から高等教育機関である大学との深い関わりを持ってきた。そして今、両者の関係はますます深化し、多様な発展を遂げている。

明治初期に学生たちは授業その他で教師に鼓舞され、あるいは学生生活の中で自主的に、英国生まれの協同組合をキャンパスの中で自ら設立した（同志社、東京農学校、慶応など）。今日の大学生協につながる学生消費組合の歴史がこうして始まる。学生消費組合運動は軍国主義の進化とともに

姿を消すこととなるが、キャンパスにおいては「ロッヂデールかマルクスか」といわれるように、様々な立場からの協同組合研究が大学教員によって進められ、それに影響を受けた学生たちが協同組合を論じる卒業論文を書き上げ、学窓を巣立っている。

そうした戦前の伝統は、敗戦とともにまもなく復活し、日本の大学では主に国立大学農学部での農学・農業経済学研究の中で、とくにマルクス主義的な立場からの協同組合論が展開された。近藤理論に代表される日本独自の協同組合研究は経済理論的接近を特徴とするが、やがてそこに思想史、社会学、経営学、環境学、福祉論等々の他分野からのアプローチが加わることとなる。その大きな契機となったのが1980年の『レイドロー報告』による協同組合の新たな地平線の開拓であり、本学会も農業経済学の研究者に他分野の研究者が合流する形で1981年に結成されたのである。80年代の各大学における「協同組合論」の開講状況を見れば、国立大学の農学部と私立大学の社会科学系学部とのいわば2大系統を確認することができる。前者の主たる関心は農業協同組合にあり、後者は生活協同組合を対象とすることが多かった。

さらにキャンパスの中では戦後再建された大学生協が食堂や購買の事業を営み、学生生活を支えていたが、そこで活動する学生の中から、街に出て主婦たちとともにいわゆる「市民生協」の立ち上げを図る運動家が生まれる。そういう意味でも大学は協同組合運動の人材供給源であり、知的背景であった。

その後90年代以降の日本社会では、ボランティアや非営利組織のかつてない興隆が見られたが、皮肉なことに、それと並行して協同組合への運動的・学問的な興味・関心はキャンパスの内外でむしろ急速に薄れていく。協同組合論の講座も担当者の引退とともに廃止されたり、NPO論に鞍替えされたりすることが相次いだのである。その状況に大きな変化をもたらしたのが2012年国際協同組合年だった。全国の大学で、農協や生協に限らず、さまざまな協同組合組織による寄附講座が続々と開設され、協同組合が多くの子生達に再び説かれるようになる。それはアカデミックな世界を越えて、地域とそこでの「協同」の運動にも大きな影響をもたらしつつある。

そうした歴史と状況を受け、本大会では「協同組合と大学」をテーマとし、協同組合の研究と実践の世界に大学がいかなる役割を果たしてきたのかを振り返り、これからの展望を開くこととした。

(関西大学 杉本貴志)

<プログラム>

- 1 開会挨拶 増田佳昭 (立命館大)
- 2 座長解題 杉本貴志 (関西大) 「協同組合にとって大学とは？」
- 3 研究報告 加賀美太記 (就実大) 「キャンパスにおける協同組合の学び」
- 4 事例報告 ①相良孝雄 (協同総合研究所) 「寄附講座の社会的意味と展望」
②矢間裕大 (全国大学生協連) 「コロナ禍と大学生協」
③伊丹謙太郎 (法政大) 「大学院教育と協同組合」
- 5 コメント 板橋衛 (愛媛大)
- 6 一般討論

会員総会・懇親会について

第39回春季研究大会シンポジウムに引き続き、オンラインで会員総会を開催致します。5月下旬に議案書(決算書、予算書、事業報告、事業計画など)を学会ホームページに掲載いたします。それをご覧いただいた上で、オンライン会員総会に参加願います。

会員総会終了後には、オンライン懇親会も予定しています。

理事会の開催について

会員総会に先立って、5月中旬に全理事に対して議案をメールで送付いたします。議案に対するご意見をメールで返信していただく書面議決式の理事会またはZ o o mを用いたオンライン理事会を開催する予定です。理事会の開催については全理事に別途ご連絡します。

2021年度学会賞のうち「実践賞」の推薦について(再掲)

学会賞のうち、「実践賞」については、6月末が締め切りとなっております。まだ日程的に余裕がありますので、皆様方からの推薦をどうぞよろしくお願いいたします。詳細は以下のとおりです。

- 推薦締め切り期日：2021年6月末
- 推薦対象（詳細は、「学会賞表彰規程」「同細則」をご覧ください）
実践賞：協同組合の発展に貢献し得る優れた実践及びその記録。
- 推薦方法：2名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。推薦する場合には、学会事務局に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

会員メーリングリスト利用ルールの改訂について

昨年の秋に会員メーリングリストの利用ルールが制定され、それに沿った運用を行って参りましたが、
現行の利用ルールでは、実務上判断の難しい事象が起こることが想定されたため、2021年2月10日に開催されました常任理事会にて、会員メーリングリストの利用ルールについて改訂が行われました。大きな変更点は、常任理事会のもとにメーリングリスト委員会（ML委員会）を設置し、会員から投稿されたメールについて形式面の確認を行った後、配信するということです。ML委員会では迅速な確認作業に努めていきたいと考えておりますが、場合によっては確認に時間がかかることも考えられます。特にイベントの告知などは出来る限りお早めにご投稿ください。

学会メーリングリストは会員全員でつくっていくものであり柔軟な運用が重要だと考えておりますので、本メーリングリストの運営に関して何かお気づきの点があればメーリングリスト委員会（coopstudies.ml@gmail.com）までご連絡をお願いいたします。

日本協同組合学会会員メーリングリストの利用ルール

1. メーリングリスト開設の主旨

日本協同組合学会会員メーリングリスト（以下、本ML）は、以下の目的で、日本協同組合学会が設置するものです。

- ① 学会事務局が学会運営等に関する事項を会員に対して伝えること。
- ② 会員が、研究会案内やイベント告知など、協同組合研究及び協同組合活動に関する情報を提供すること。

2. 利用ルール

本MLをご利用いただくにあたり、安全かつ快適な運営のために以下のルールを守ってご利用ください。

(1) 参加資格について

本MLは、本学会にメールアドレスを登録した学会員のみが利用できます。

(2) 使用方法について

- ① MLアドレスは「coopstudies@googlegroups.com」です。このアドレスにメールを送信すると、メールサーバーに投稿された後、MLに登録された学会員にメールが配信されます。
- ② 投稿されたメールは、日本協同組合学会メーリングリスト委員会（以下、ML委員会）が下記の留意点に照らし問題ないかを確認したのちに配信されます。場合によっては確認に時間がかかることもあります。イベントの告知などはお早めをお願いします。
- ③ メールを投稿する際には、必ずメールアドレスなど投稿者への連絡先を記載してください。
- ④ 投稿されたメールの内容について、ML委員会からご連絡を差し上げることがございます。

(3) 安全・安心・効率的に本MLを活用して頂くための留意点

本MLは、参加している一人ひとりが発言内容に責任を持って活用してください。具体的には以下の各項目にご留意ください。不適切な利用等がみられた場合は、ML委員会が当該投稿を差し止めるほか、当該利用者の本MLの利用を停止することがあります。

- ① 誹謗中傷をしない。
- ② チェーンメールを流さない。
- ③ 他者の個人情報やプライバシーに配慮する。
- ④ 公序良俗に反する行為、法令に違反する行為をしない。
- ⑤ 他の会員の投稿内容に対して本ML上で応答しない。
- ⑥ 引用メールは必要な内容にとどめる（引用を重ねると容量が大きくなりすぎます）。
- ⑦ 容量の大きすぎる添付ファイルは送らない（可能な限りストレージサービスをお使いください）。
- ⑧ 固有の機種のみで使用できる「機種依存文字」および半角カタカナは使用しない。
- ⑨ コンピュータウイルスに感染しないよう、また他の利用者に感染させないよう注意するなど、ネット上でのエチケットを遵守する。
- ⑩ 本MLの主旨にふさわしくない情報を投稿しない。

3. 免責事項

- ① ML委員会は投稿内容が上記の各点に違反していないかを確認しますが、投稿内容の正確性などを保証するものではありません。
- ② 投稿した内容に関する責任は投稿者にあります。日本協同組合学会は、利用者間のメール送受信に関する個別の紛争については一切関知いたしません。
- ③ 本MLの運営に関し、お気づきの点があればML委員会（coopstudies.ml@gmail.com）までご連絡ください。

4. 改廃

本ルールの改廃は、ML 委員会の議を経て、常任理事会で決定します。

日本協同組合学会常任理事会

2020 年 9 月 24 日制定

2021 年 2 月 10 日改訂

会員メーリングリストへの登録のおさそい

当学会では、会員間の情報交換、学会からのお知らせ等のためのメーリングリストを開設しております。メーリングリストへの登録をご希望の方は、 kyodo-gakkai@japan.coop へご連絡ください。

会費納入のお願い

学会の研究活動促進のためにも、会費未納の方は速やかに納入していただくことをお願い致します。会費は年 6,000 円、学生会員は 3,000 円です。ご不明な点がありましたら、事務局へお問い合わせください。

郵便振替	日本協同組合学会	口座番号	00140-5-557520
(ゆうちょ銀行	〇一九支店 日本協同組合学会	当座	口座番号 0557520)

★ 会則第 6 条により、会費を 3 年以上滞納すると会員の資格を失うことになりますので、ご留意ください。